



小郡市立大原中学校 令和7年9月12日 第24号

大原中学校だより

「自走」と「協働」と「主体性」 校長 野中文明




【学校教育目標】自分の人生をよりよくするために、自分で考え判断し行動できる生徒の育成

全国学力・学習状況調査とは？ → 学びの様子を振り返り、成長につなげるための資料です。

＜調査の目的＞ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

＜調査事項＞ (1)教科に関する調査(国語、数学、理科)

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

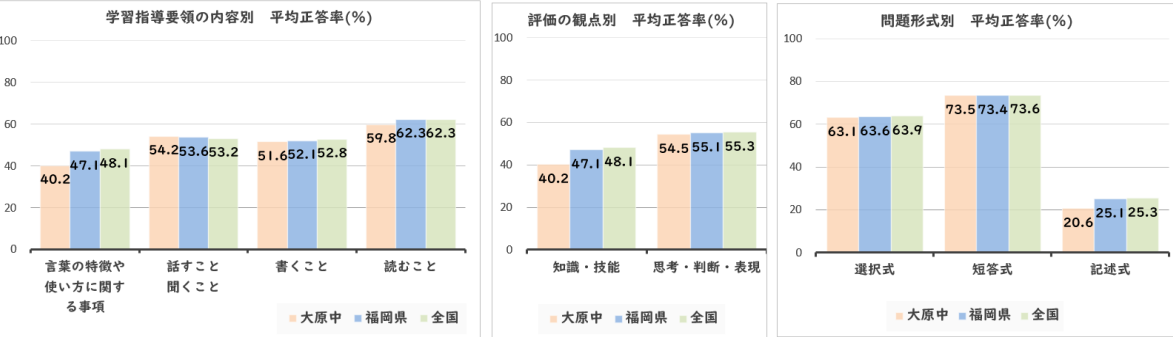
(2)質問調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問)

※ 本年度は、理科も CBT (タブレットを使って答える) 形式で行われましたが、結果の形式が国語、数学とは大きく異なるため、今回は載せておりませんので、ご了承ください。

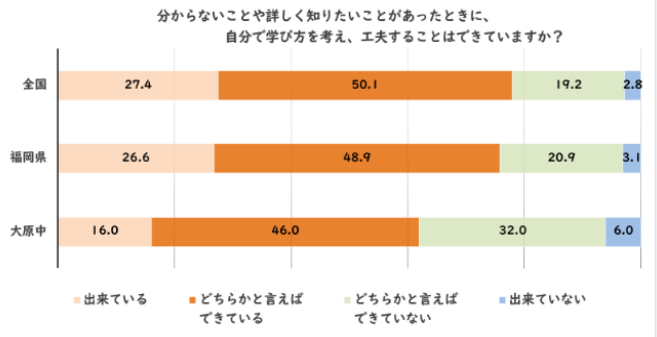
4月17日実施の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

皆さんは3つのデータ（資料1～資料3）からどのようなことを読み取りますか？

＜資料1：国語＞

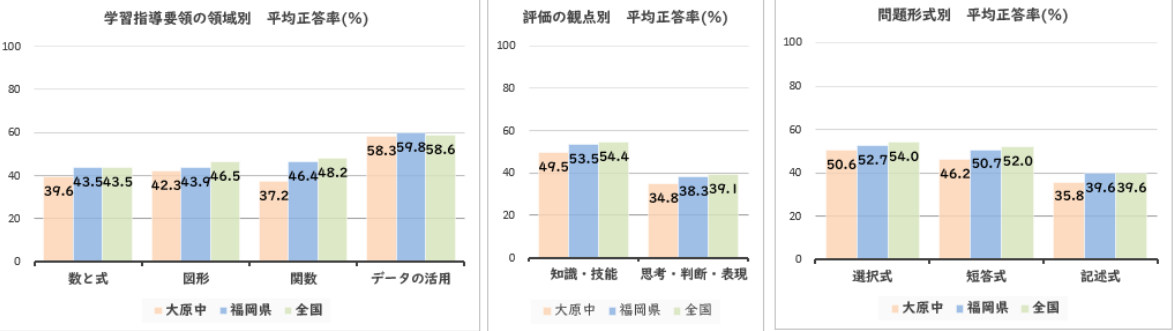


＜資料2：質問調査①＞

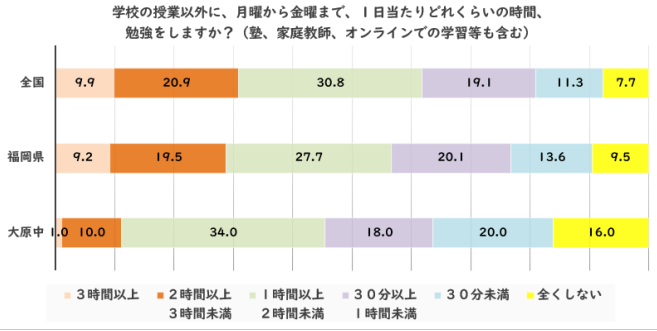


皆さん自身が3つのデータを見て、言えることはどんなことですか？

＜資料1：数学＞



＜資料3：質問調査②＞



私が3つのデータを見て思うこと・・・？

今回、皆さんに示したデータは3つです。他にも共有したいデータはありますが、まずはこの3つを共有したいと思いました。他者と比較することが決して最善だとは思いませんが、現在の自分の立ち位置を把握する1つの方法だと思います。皆さんは、この3つのデータを見てどのようなことを感じましたか？私自身は、能力が高いわけでもなく、要領がいい訳でもありません。ですから、私が何かができるようになるためには、今でも絶対的に多くの時間と回数をこなす必要があります。様々な機会で、量より質と言われます。私にとっての理想もそうです。しかし、それでも私は、無駄も多いし、遠回りをしているとも思いますが、「量」をこなさないと「質」は手に入らないと思っています。運動部に入っている人たちは、常に次のサイクルをやっています。「学校で練習する→練習試合や大会に出て出

来ないことに気付く→だから、また、練習する→何度も繰り返す→身につく」身につくまでには、時間と回数をかけていると思います。学習も同じです。特に知識や技能はそうだと思います。「授業で学ぶ→問題集やテストで出来ないことに気付く→だから、また練習する→何度も繰り返す→身につく」共通するのは、どちらも「真似することから始める」ということです。逆に練習試合と違うのは、「問題集を解く」「また練習する」「何度も繰り返す」を「自分で時間をつくり」「自分で回数を決める」ということです。気を付けなければならないのは、「できる気になっている」「分かった気になっている」のではないかとということです。更というと「知っていること」と「出来ること」は同じではないということです。自分で考え、工夫することは、効率は悪いかもしれませんが、私は必要だと感じています。そうして手に入れた基盤は、簡単には崩れません。そして、そのエネルギーになる根源は、「なりたい自分になる！」という自分の目標に向かう強い思いです！